

S S T K

社会福祉法人
埼玉のぞみの園

法人だより

No.26

領価 50円

編集人 埼玉のぞみの園法人本部 埼玉県深谷市本田3343 編集責任者 理事長 山崎勝
発行人 埼玉県障害者団体定期刊行物協会 埼玉県川口市芝新町15-9アステール藤野1階



平成31年4月1日 春陽の里スタート!



社会福祉法人 埼玉のぞみの園

理事長 山崎 勝

平成31年4月 令和元年となる年、
本法人にとって大きな節目の年となる予感が
してなりません。

構

想から6年目にして春陽の里が開設
いたしました。法人として規模拡大による
利用者数・職員数の増加を意味します。
そのため組織を改編する必要があります。法人
事務局体制をスタートしました。

新規職員は昨春今春と計20名程採用させ
ていただきましたが、正に金の卵として大切
に育てていきたいと考えています。更に20名
を超えるパート職員も新たに仲間入りとな
り、昨年と比べると約40名職員が増え、利用
者を支えて下さるようになりました。
皆様のご理解ご協力に心強く感謝しており
ます。

そのような現状から、現在やらんとする事、
あるいはやれたらいいな...と思っっている事な
ど今後の課題としてあらわしていきたいと思
います。

玉の進める『働き方改革』というのがあ
りますが、本法人でも職員の働き方を考えて
いかなければならないと考えております...と
申しますのも、次の理由からです。
(中面へ続きます。)

埼玉のぞみの園

法人ご寄付 ご協力者様

順不同・敬称略にて御容赦願います。
平成30年12月5日平成31年3月

※平成31年4月1日現在

田島久雄
大澤信之
妻沼つくし作業所

福祉の向上のために使用させて
いただきます。

後援会

ご協力者様

順不同・敬称略にて御容赦願います。
平成30年12月5日平成31年3月

※平成31年4月1日現在

大澤美知子 石川豊二
長谷川高雄 戸谷やよひ
杉田敏夫 太田千代子
島田茂 脇節子
坂口菜 持田和樹
高月幸子 藤野操
吉野和佳子 堤勇人
細井美由起

賛同いただけます方は、
何卒よろしくお願ひ申し上げます。
いつも応援いただき
ありがとうございます。

平成31年4月入社 埼玉のぞみの園 新任職員紹介

H31年4月の正職員採用は、新卒者6名・中途採用
5名です。今年の新人もガッツある優しい職員ばかり。
これから力をあわせ、障がい福祉のため
一緒に頑張りましょう。

お題「もこも夢が
つだけけつなら...」

野澤英文
(春陽の里配属)
「20才にもどりたい」
場面場面で人生の舵を
とり直したいです。

宮尾龍太郎
(春陽の里配属)
「未経験からのスタートが
ハンデにならないくらい
頑張りをみせたいです」

小野祐季
(春日園配属)
「世界中の舞台が見たい」
ミュージカルなどの舞台が
好きなので。

村田康元
(春日園配属)
「世界一周旅行」
できれば船旅で♪

八木美咲
(深谷たんぼぼ配属)
「世界旅行へ行きたい」
世界中の朝ごはんを食べる旅です!



4月17日車いす研修の様子。



佐々木唯
(春日園配属)
「花粉を無くしたい!」
毎年苦しめられています...

塚本愛美
(春日園配属)
「ライブを最前列で見たい!」
ライブは生きる糧です!

柳澤 恵
(第2春日園配属)
「動物と話せるようになりたい」
飼犬も含め動物達がどんな事を考えている
のか興味深いです。

渡邊明日香
(春陽の里配属)
「日本一周をして
四季折々の写真を撮りたい」
カメラが趣味です♪

黒澤菜美
(春陽の里配属)
「大好きなアーティストと会って話したい」
いつも幸せな気持ちにさせてもらっているので
直接感謝を伝えたいからです。

清水竹美
(春日園配属)
「各地のご当地グルメを
食べてみたい」
食べることが好きなので。

【法人本部連絡先】 〒369-1105 埼玉県深谷市本田3343 (電話)048-594-6511 (FAX)048-594-6512
(HP)http://nozominosono.jp 埼玉のぞみの園で検索を!各事業所のブログご覧になって下さい!!

埼玉の「働き方改革」

①若い女性職員が多く、今後結婚出産に伴う休暇等が多く望まれると思われれます。
 昨年から企業内保育について近隣の社会福祉法人と話をしたりしてありますが、今後基準が厳しくなりそうであるの足を踏んでおります。何らかの対策を講じなくてはならないと考えています。

②高齢になった職員の働き方についても検討していく必要があると考えます。定年を迎えた後もまだまだ元気という方は多く、そんな人材を失うことは法人にとってもったいないと思えます。

③外国人の介護人材の登用について、将来を考えると見込んでいます。これは現地の看護等の学校を卒業した方で、もちろん日本語教育を受けた方を受け入れたいのですが、基本的に3年間を目途としています。利用者にとっても異文化と接する機会や彼らの一生懸命さを間近に感じ、新鮮な環境になるのではないかと考えております。

④発信の重要性として、埼玉のぞみの園ではこんなことあんなことをやっているという発信が大事だと思っております。それを保護者や周囲の方々が好意的評価を下さる。法人職員に頑張っているねと声を掛けていただく、そうすると職員も期待に応える為に一層頑張る。こんな良いスパイラルができるのではないかと考えています。
 さて大きく背負った借入金。障がい福祉の先駆けとして、これを笑って返せる状況にするのは、諸君の努力の結果如何だと肝に銘じてほしいものです。



山崎理事長

一般社団法人埼玉のぞみの園 成年後見サポートの設立

設立までの経緯

はじまり

昨年の平成30年7月、山崎理事長から「親亡きあとの問題として、成年後見制度の利用を模索しているが、家族会で法人を設立して対応出来ないか」の問いかけに、専門職の助言を受けながら、9月埼玉のぞみの園の各施設の家族会長を中心に13名が集まり、設立準備委員会がスタートしました。

法人設立までの道のり

毎週土曜日「深谷つくしの家」「妻沼つくし作業所」会議室で、法人設立に必要な登記申請書類、運営に必要な定款、規則・規程等をメンバーで修正しながら作成して、法務局や公証役場といった今まで縁ない役所に、登記・申告をしました。

法人設立へ

平成31年4月1日「春陽の里」開園と同じ日に「一般社団法人埼玉のぞみの園成年後見サポート」が設立しました。

法人の特長

- ①身上監護を重点(後見スタッフは家族会員)
 - ②後見費用の低減(専門職より月1万円の低減を目標)
 - ③継続性がある(個人後見でないで長期間利用できる)
 - ④「後見けやき」と連携(専門職の法人と連携している)
- これから家族会が運営する親目線での成年後見を利用者・御家族の要望が叶うよう進めてまいりますので、皆様の御協力、御支援をお願いいたします。

会員募集中

ぜひご加入をお願い致します。

～みんなの望みをのせて～



成年後見サポート 代表加治氏

深谷たんぽぼ 榎澤正範所長が

厚生労働大臣表彰を受賞しました

受賞しました



第68回 障害者自立構成等厚生労働大臣表彰 皇居にて(平成30年12月7日)

功績内容

「水年にもわたる身体障害者又は知的障害者の更生援護に尽力し、その功績が特に顕著であると認められる者。」

昭和55年に埼玉のぞみの園へ入職、平成6年に第2春日園の授産事業課長に就任した。個人の作業量や質に対する客観的な評価を取り入れ、金銭を使う楽しみを併せて伝えることで授産事業の活性化と工賃の向上に大きな成果を上げた。平成13年12月に法人事務計算センターの次長兼管理課長に就任。グループホームの増設をはじめとした法人事業の拡大に力を注ぐ。平成23年4月、深谷市立たんぽぼ作業所(現障害福祉サービス事業所深谷たんぽぼ)の施設長に就任。利用者と保護者に対して仕事の意義と自立必要性を丁寧に伝えたことにより、工賃が向上し、親離れ・子離れの意義も育む。それは後の入所施設開設(平成31年4月開所予定)につながる大きな功績であった。常に法人内施設・事業所のつながりを意識しガバナンスの構築に努め、障害者の工賃向上と自立を目指す姿勢は他の模範となっている。後継者の育成にも力を注いでおり、その功績は誠に顕著である。

本人より

この度の受賞は名誉なこと、大変嬉しく思うのと同時に、私ごとき寡聞浅学な者が頂いてよいのかと恐縮しております。四年前に山崎理事長が同賞を受賞された際に「法人を代表しての受賞だ」と述べられた事を覚えておりますが、今回の受賞はまさにこの通りで「埼玉のぞみの園」としての名誉だと考えます。

この賞に恥じないよう今後も歩んでまいりますので、ご指導ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。



榎澤所長

謹啓 春長閑な季節となりましたが、皆様におかれましては平素本法人のため一方ならぬご厚情を賜りまして誠にありがとうございます。
 さて、平成31年度4月の春陽の里開設に伴う法人組織の変更により、管理者等の人事異動を先のように行いました。
 新たな体制での新年度スタートとなりますが、前任者同様格別のご配慮を賜りたく宜しくお願い申し上げます。

春日園(入所支援施設)

施設長 齊藤 千穂
 課長 細井 美由起
 支援課長 坂本 弘道
 電話: 048-577-6661

春陽の里(入所支援施設)

施設長 鯨井 昭二
 課長 萩原 正憲
 電話: 048-594-8111

のぞみの園ホーム(グループホーム)

管理者 新井 隆浩
 電話: 048-578-7882

深谷たんぽぼ(多機能型事業所)

施設長 榎澤 正範
 課長 長崎 宏士
 電話: 048-572-1668

妻沼つくし作業所(多機能型事業所)

施設長 泉 慶一
 電話: 048-588-6890

第2春日園(多機能型事業所)

施設長 小口 一弘
 電話: 048-583-5451

生活支援サービスのぞみ

管理者 山崎 勝
 所長 笹間 慶紀
 電話: 048-577-5318

深谷市障害者基幹相談支援センター

センター長 山崎 勝
 事業所長 橋本 昌教
 電話: 048-551-8777

相談支援センターのぞみ

管理者 田沼 大輔
 電話: 048-577-5841

埼玉県社会福祉協議会様

平成30年度ひまわり基金災害復旧助成金を頂きました

●対象施設: 第2春日園
 ●対象品目: テント
 ●総事業費: 159,084円
 ●助成金額: 30,000円

●対象施設: 深谷たんぽぼ
 ●対象品目: つくしの家
 ●総事業費: 76,684円
 ●助成金額: 76,000円

●対象施設: 深谷たんぽぼ
 ●対象品目: つくしの家
 ●総事業費: 76,684円
 ●助成金額: 76,000円

大切に使用させていただきます!



↓補修前です



↑補修後です

心より感謝申し上げます

今後のスケジュール

令和元年6月8日(土) 法人レクリエーション
 深谷市総合体育館(ビッグタートル メインアリーナ)